

Who is it?

Q. インフロニアとは何者か？

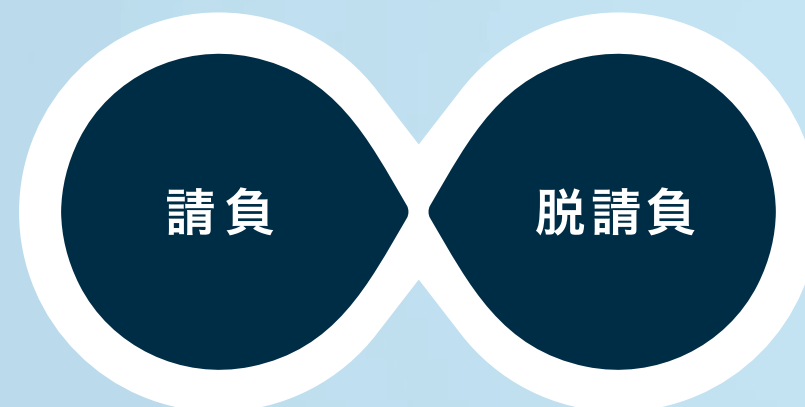


A.

日本初の

総合インフラサービス企業

「つくる」「建てる」から「価値を生み出す」インフラへ



今、インフラ※の老朽化、少子高齢化、担い手不足、自治体の財源不足などの社会課題によって、当たり前だった地域社会の安全性や快適性がゆらぎ始めています。インフロニアは、ものづくり・建設事業（請負）により長年培ってきたエンジニアリング力と地域ネットワークを強みとし、運営・サービス面（脱請負）までを包括的に担うことで、人々の暮らしや地域経済を支えます。

> ※インフラ：P.95 用語集をご覧ください

> 詳細は P.23 をご覧ください

インフロニアグループは、前田建設工業、前田道路、前田製作所及び日本風力開発の主要事業会社で構成され、インフラ事業を通して100年以上にわたり地域の成長に伴走してきました。

建築、土木、舗装、機械及びインフラ運営を主要事業とし、リテール事業や不動産業等、幅広く展開しています。

インフロニアは、一つ一つの事業に誠実に向き合いながら企業価値向上に努め、グループが一体となって地域・社会とともにある企業として、インフラサービスの未来に挑んでいきます。

INFRONEER Holdings Inc.

2021年10月設立



脱請負とは

「脱請負」という言葉には、従来の請負事業だけでなく、事業者としてプロジェクトのリスクを取るという意味が込められています。具体的には、空港や上下水道、有料道路のような公共インフラの運営権を取得し建設、運営、維持管理を手掛けるコンセッション事業や、事業開発・建設から維持管理・運営、売却までの事業投資を行う再生可能エネルギー事業などのビジネスを意味しています。

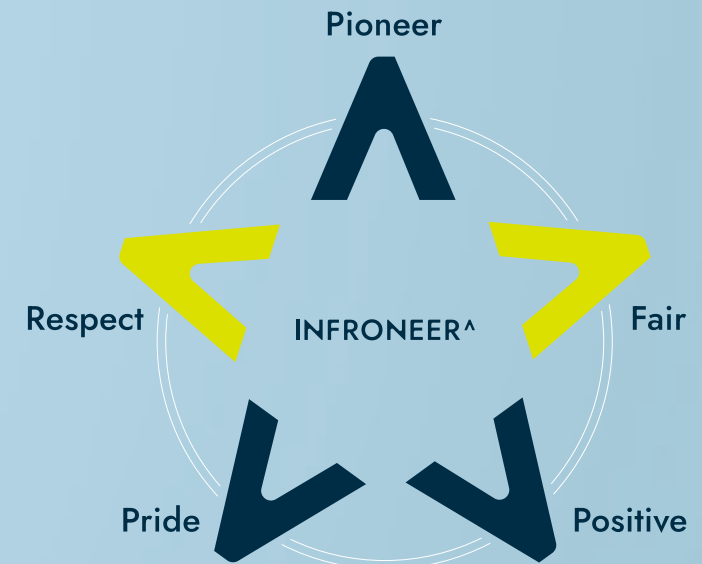
請負事業で長年培ったエンジニアリング力と共に、金融ノウハウを活用することで、リスクを最小化し、大きなリターンを生み出すことを可能にしています。

総合インフラサービス企業の実現に向け、社員一人ひとりが持つべき共通の考え方を定めています。

INFRONEER^ (インフロニア・キャレット)

私たちインフロニアパーソンのもつ多様な強みの累乗(キャレット)による、新しい価値創造の源泉であり、大切にする道しるべです。

Pioneer	失敗してもいい。未知の領域へ、先陣をきろう。
Respect	ぶつかってもいい。互いを認め、信頼を築こう。
Pride	胸を張っていい。技術と知識を誇りにしよう。
Positive	無駄な経験なんてない。どんなことも成長の糧にしよう。
Fair	自己のためだけではない。地域と社会視点で判断しよう。



To where ?

Q. インフロニアが目指す未来とは？

A.

どこまでも、
インフラサービスの
自由が広がる世界。

いつでもどこでも人々が安心して暮らせる持続可能な社会や、災害に強く環境に優しい街。そこに暮らす人々とともにワクワクできる世界。私たちはインフラの力でライフスタイルやカルチャーをも変革できると考えています。

目指す未来の実現のために、私たちは、既存概念にとら
われない自由な発想で、享受する一人ひとりにとって最
適なインフラサービスを提供していきます。

➤ 詳細は P.20 をご覧ください



目指す未来の実現に向けて、以下の理念を定めています。

スローガン

Challenge the status quo

インフラの既成概念に挑むこと。そこから、世界はもっと自由になる。

私たちが目指す未来

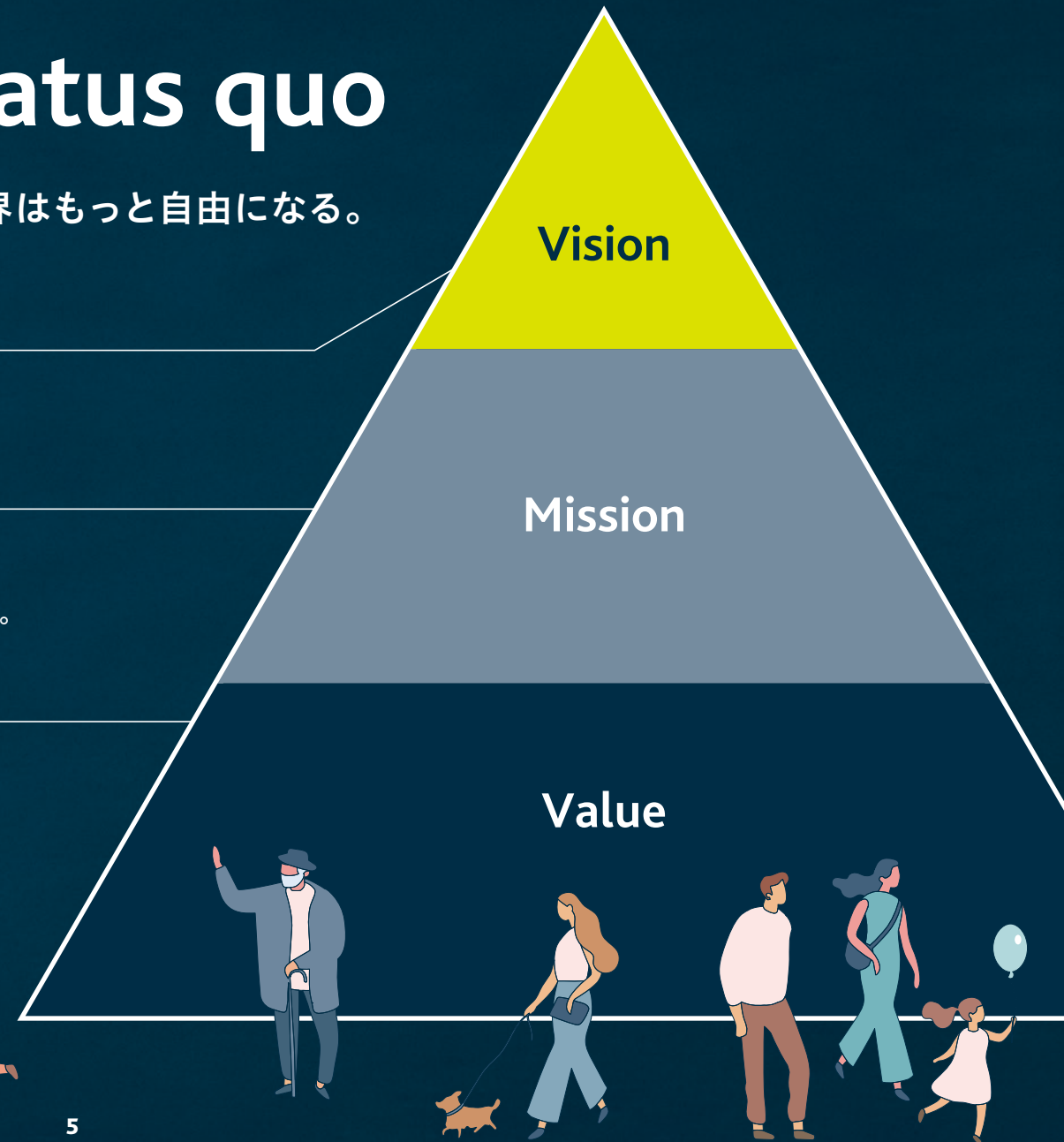
どこまでも、インフラサービスの自由が広がる世界。

私たちの使命

インフラストラクチャー・ビジネスの既成概念に挑み、
イノベティブなアイデアで、世界中に最適なサービスを提供する。

私たちが約束する価値

社会・地域の安全安心とサステナビリティ



統合報告書 2025 MAIN TOPICS

トップメッセージ > P.8



総合インフラサービス企業としてインフラによる社会変革に挑戦し続け、企業価値向上を実現する

特集 ① 特別対談 インフロニア×リコー > P.14



社員が価値を語れる企業が「強い企業」になる
二人の経営者が語る変革への挑戦

特集 ② 社外取締役座談会 > P.64

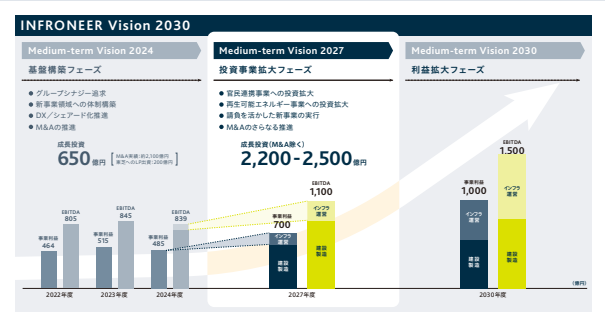


新中期経営計画のもとで進化するガバナンス
～これまでに積み上げた企業価値をさらに向上させるために～

新中期経営計画

INFRONEER Medium-term Vision 2027 > P.26,57

2024 年度で前中期経営計画が終了。
次の 3 年間で「投資事業拡大フェーズ」として新中期経営計画がスタート。

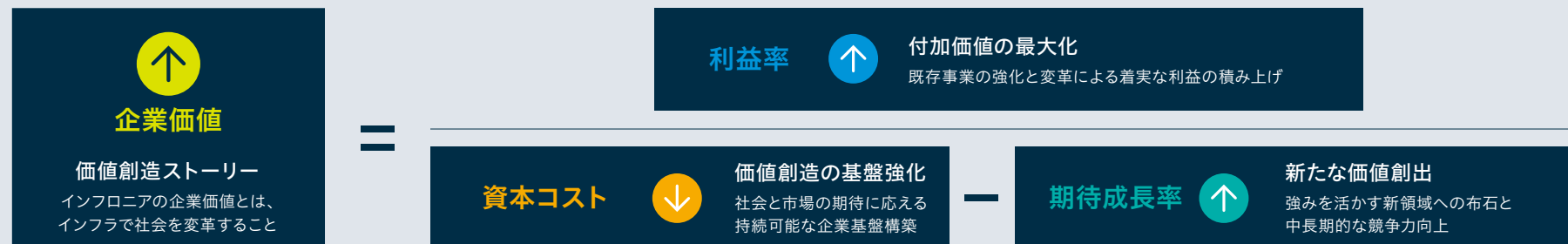


情報開示体系図



CONTENTS

インフロニアは中長期的な企業価値の向上を目指しており、本統合報告書は以下の企業価値向上の計算式を軸とした構成としています。



Chapter 1

イントロダクション

- 2 インフロニアを知るためのQ&A
- 6 統合報告書2025 MAIN TOPICS
- 7 CONTENTS・編集方針

Chapter 2

トップメッセージ

- 8 トップメッセージ
- 14 特集① 特別対談
インフロニア×リコー

Chapter 3

価値創造ストーリー

- 19 価値創造プロセス
- 20 インフロニアが目指す社会
ーサステナビリティステートメント
- 22 成長を支える6つの事業基盤
- 23 インフラの未来に挑む、
ビジネスモデル・競争優位性
- 26 新中期経営計画の概要
- 28 マテリアリティ・KPI

Chapter 4

付加価値の最大化

- 33 インフラを取り巻く社会課題
- 34 前田建設工業トップメッセージ
- 35 前田道路トップメッセージ
- 36 前田製作所トップメッセージ
- 37 日本風力開発トップメッセージ
- 38 インフロニアグループの事業紹介
- 40 建築事業
- 42 土木事業
- 44 インフラ運営事業 前田建設
- 46 インフラ運営事業 日本風力開発
- 48 舗装事業
- 50 機械事業
- 52 主なインフラ運営事業
- 54 シナジートピックス

Chapter 5

新たな価値創出

- 57 新中期経営計画と2030への
ロードマップ
- 58 成長投資戦略
- 60 財務戦略・財務担当役員メッセージ
- 64 特集② 社外取締役座談会
- 68 成長を加速させるドライバー
〈IT・DX戦略〉
- 70 成長を加速させるドライバー
〈人財戦略〉

Chapter 6

価値創造の基盤強化

- 73 サステナビリティ戦略
- 74 ステークホルダーとの対話
- 76 ガバナンス
- 82 環境
- 86 社会

Chapter 7

データセクション

- 88 財務諸表
- 89 財務・非財務ハイライト
- 90 財務サマリー
- 92 非財務サマリー
- 94 会社概要及び株式関連情報
- 95 重要視するイニシアチブ・
用語集・社外評価

編集方針

インフロニアでは、本統合報告書をステークホルダーの皆様と当社の重要なコミュニケーションツールと位置付けています。本書は企業価値向上への道筋を示す構成とし、当社の永続的な価値創造プロセスと地域・社会への価値提供についてご理解いただき、ステークホルダーエンゲージメントを積み上げ、社会・企業価値向上に寄与することを目指しています。

対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日の当社グループの活動を対象としていますが、一部、それ以前からの取り組みや直近の活動も含まれます。なお、掲載している数値や内容には三井住友建設(株)を含んでおりません。本統合報告書に掲載しているグラフや表は、別途記載がない限り「2025年3月末現在」及び「2024年度」の情報をご報告しています。

参考ガイドライン：国際会計基準(IFRS)財団「国際統合報告フレームワーク」、経済産業省「価値協創ガイドライン」、GRIスタンダード、ISO26000

表紙に込めた想い

目指す未来(Vision)「どこまでも、インフラサービスの自由が広がる世界。」から着想し、もっと自由になった世界を明るくポジティブな雰囲気イラストで表現しました。

